allcinema

塀の中のジュリアス・シーザー（2012）

CESARE DEVE MORIRE
CAESAR MUST DIE

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 イタリア
色彩 B&W/C
時間 76分
初公開日 2013/01/26
公開情報 スターサンズ
映倫 G

【キャッチコピー】
いま、刑務所は
ローマ帝国へと
変貌する

【解説】
　重犯罪の受刑者を収容するイタリアのレビッビア刑務所で毎年行われている演劇実習プログラムと、「父／パードレ・パドローネ」「グッドモーニング・バビロン！」の巨匠タヴィアーニ兄弟のコラボで製作された異色作。ベルリン国際映画祭金熊賞受賞作。
　イタリアのローマ郊外にあるレビッビア刑務所。ここで行われている演劇実習は、毎年様々な演目を囚人みずからが演じ、所内の劇場で一般の観客にお披露目される。いよいよ今年の演劇実習が始まり、舞台演出家のファビオ・カヴァッリによって演目が『ジュリアス・シーザー』と発表される。さっそくオーディションが始まり、配役が決まっていく。演じるのは10年以上の長期刑や終身刑の重犯罪者ばかり。彼らは、所内のいたるところでセリフを練習し、来たるお披露目に向けて懸命に稽古を繰り返す。カメラは、そんな彼らの日常に密着しつつ、虚実が交錯する演出で、次第に刑務所全体がローマ帝国に変貌していくかのような錯覚を起こさせ、あるいは俳優＝囚人と演じる役柄が同化していくさまをスリリングに描き出していく。

【クレジット】

監督	パオロ・タヴィアーニ	Paolo Taviani	
	ヴィットリオ・タヴィアーニ	Vittorio Taviani	
製作	グラツィア・ヴォルピ	Grazia Volpi	
製作総指揮	ドナテッラ・パレルモ	Donatella Palermo	
脚本	パオロ・タヴィアーニ	Paolo Taviani	
	ヴィットリオ・タヴィアーニ	Vittorio Taviani	
撮影	シモーネ・ザンパーニ	Simone Zampagni	
編集	ロベルト・ペルピニャーニ	Roberto Perpignani	
音楽	ジュリアーノ・タヴィアーニ	Giuliano Taviani	
	カルメロ・トラヴィア	Carmelo Travia	
劇中戯曲	ウィリアム・シェイクスピア	William Shakespeare	『ジュリアス・シーザー』
出演	コジーモ・レーガ	Cosimo Rega	キャシアス（カッシオ）

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

サルヴァトーレ・ストリアーノ	Salvatore Striano	ブルータス（ブルート）
ジョヴァンニ・アルクーリ	Giovanni Arcuri	ジュリアス・シーザー
アントニオ・フラスカ	Antonio Frasca	アントニー（マルカントニオ）
フアン・ダリオ・ボネッティ	Juan Dario Bonetti	ディシアス（デチオ）
ヴィンチェンツォ・ガッロ	Vincenzo Gallo	ルシアス（ルーチョ）
ロザリオ・マイオラナ	Rosario Majorana	メテラス（メテロ）
ファビオ・カヴァッリ	Fabio Cavalli	舞台監督

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.